



詳細は裏表紙のQRコードからご確認いただけます。

三菱食品通信

株主・投資家の皆様へ

2023年度 通期報告 2023年4月1日～2024年3月31日

証券コード 7451

次の100年も 「持続可能な食のサプライチェーン」を守り 「新たな食の価値」を提供する覚悟を込めて、 新しい経営ビジョンを策定しました



代表取締役社長
京谷 裕

Q. 「中期経営計画2023」の振り返りをお願いします。

A. 「中経2023」は、前回の中期経営計画である「経営方針2020」で着手した、事業領域拡大や当社の機能・経営基盤強化を加速させることを主眼に策定しました。「新たな付加価値の創出」「デジタルを活用した業務効率化・需要創造」等の収益向上施策が着実に成果に結び付いた結果、2021年度以降3年連続で過去最高益を更新し、1年前倒しで「中経2023」の定量目標を達成することができました。経済価値においては、7ページ記載のグラフのとおり、2023年度の経常利益は314億円（中経目標220億円）、ROEは11.7%（中経目標8.0%以上）と、過去の水準とは一段違うレベルに引き上げられた手応えがあります。配当についても、その成長に合わせて、3年連続の増配を実現し、2023年度の配当金額は1株当たり160円、配当性向は30%を超える見込みです。

環境価値では、CO₂排出量と食品廃棄量の削減について、2030年の目標達成に向けて順調に進捗しています。社会価値においては、「健康経営優良法人」の5年連続認定に加えて、2024年3月には、「ホワイト500[※]」の認定を獲得することができました。

※経済産業省が定める認定制度で、大規模法人部門での健康経営優良法人のうち、上位500社に入る企業のこと。詳細は8ページ上段ご参照。

Q. 新たな経営ビジョン「MS Vision 2030」の概要について教えてください。

A. 今回策定した当社の新たな経営ビジョンを、「MS Vision 2030」と名付け、そのサブタイトルとして、「つぎの100年へ、食が創造する未来へ、たすきをつなぐ」を掲げることにいたしました。その名前のとおり、「MS Vision 2030」では、「当社が2030年頃の実現したい未来」を、チャレンジングな目標設定とともに、ビジョンとして示しています。これは、先行きが極めて不透明で変化が激しい時代に合わせて、短期スパンで緻密に積み上げる方式での計画策定を取止め、「2030年頃の在りたい姿」を起点にしてチャレンジングな目標を設定し、そこからバックキャストで成長戦略を組み立てる方式へと、当社の「経営の在り方」を改めるものです。

また、「つぎの100年へ、食が創造する未来へ、たすきをつなぐ」というサブタイトルには、来年2025年に、前身である「北洋商会」の設立から数えて100周年を迎え

る当社であるからこそ、次の100年においても「持続可能な食のサプライチェーン」が機能し続けるように、そして「新たな食の価値」が継続的に創造できるように、全てのステークホルダーの皆様とともに、次の時代を切り拓いていきたい、という当社の覚悟と思いが込められています。

下記図では、「MS Vision 2030」策定に当たって、その前提とした外部環境認識を示しています。このような不確実な事業環境下において、当社の企業経営は、「先を読む」予想と計画の経営から、「先が読めないことを前提にした」経営にシフトすることが求められており、それを実践するためには、「組織や人財の学習スピードを上げる」ことが不可欠だと考えております。

「MS Vision 2030」の詳細につきましては、次ページ以降でご説明いたします。

株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援とご理解を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

外部 環境認識	国内人口の 加速度的な減少	テクノロジーの進化	地政学リスクの 高まりや サステナビリティ 課題の深刻化	将来の予見性の低下
当社の 課題認識	国内需要の 縮小と変化	リアルとネットでの ハイブリッド競争 激化	複雑化する 社会的要請	組織や人財の 学習スピードが 重要に

MS Vision 2030

～ つぎの100年へ、食が創造する未来へ、たすきをつなぐ～

2030年度を最終年度とする新たな経営ビジョンを策定しました。
考え方や具体的な取り組みについて、ご紹介します。

「MS Vision 2030」の全体像

新たな経営ビジョン「MS Vision 2030」では、前回の中期経営計画2023（「中経2023」）において当社の存在意義として定めたパーパス「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」をそのまま引き継ぐとともに、サステナビリティ対応の重要性がますます高まっていることを踏まえ、「サステナビリティ重点課題の



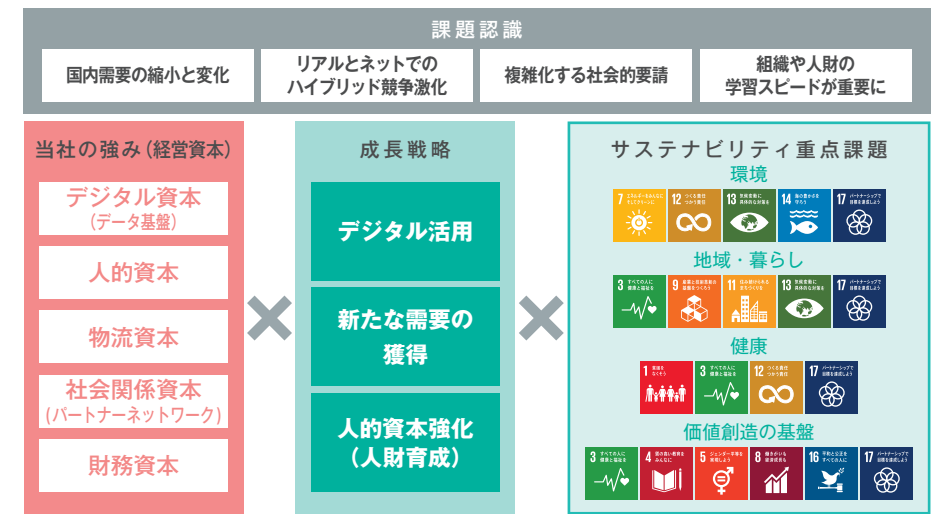
サステナビリティ重点課題

「MS Vision 2030」で掲げる成長戦略に合わせて、⑥、⑦、⑩の3つの目標を新たに追加しました。2030年に向けて、4つの重点課題と10項目の目標に継続的に取り組んでまいります。

重点課題	目標
環境	① 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO ₂ 排出量を2016年対比60%削減する。 ② 食品廃棄量を2016年対比50%削減する。 ③ プラスチック資源循環を推進し、環境に配慮した製品を活用する。
地域・暮らし	④ 強靱で持続可能なサプライチェーンを構築する。 ⑤ 地域課題の解決と地域貢献に資する商品やサービスを創出または拡充する。 ⑥ 海外成長市場で日本の食文化の需要を創出または拡充する。 ⑦ 国内需要の変化に対応し、生活者ニーズに合わせて商品を開発し提供する。
健康	⑧ 健康課題を解決し、健康に貢献する商品やサービスを創出または拡充する。
価値創造の基盤	⑨ 個性を尊重し、能力や適性を活かして健康的に活躍できる組織風土を醸成し、エンゲージメントを向上させる。 ⑩ デジタル技術を活用して業務を変革し、サプライチェーン全体の効率化と生産性向上に貢献する。

当社を取り巻く課題と対応策

「MS Vision 2030」では、当社を取り巻く外部環境を踏まえ、4つの経営課題とその対応策となる「成長戦略」を掲げています。これらの成長戦略は、「当社の強みである経営資本」を最大限活用し、「サステナビリティ重点課題の同時解決」につなげることで、その独自性が担保されています。



2030年に向けて当社が目指す在り姿

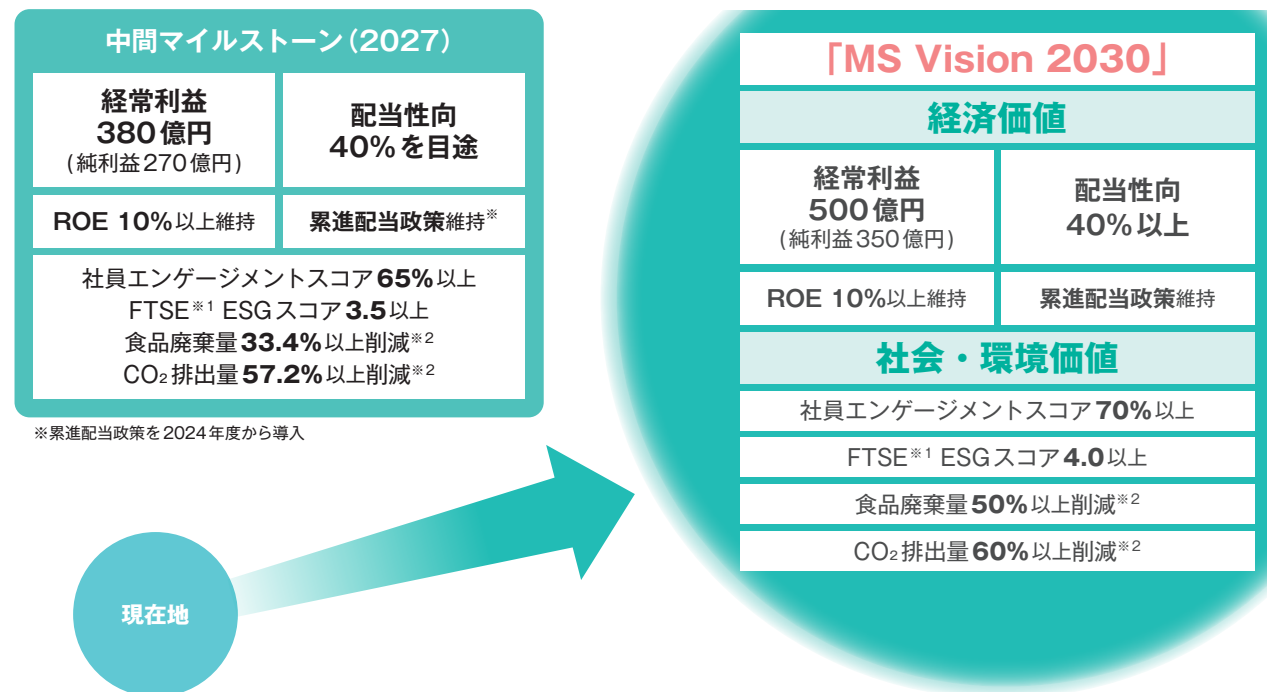
経常利益500億円、ROE10%以上を維持しながら、配当性向40%以上を目標に掲げました。大変チャレンジングな目標ですが、「投資計画」と「成長戦略」（次ページ参照）の着実な推進によって、実現を目指します。

また、2024年度以降、「累進配当政策」を導入し、配当性向を徐々に上げていくとともに、2030年までは配当を減らさない方針とします。

「社会・環境価値」でも、ハードルの高い目標を設定し、その達成に向けて取り組んでまいります。

パーパス：食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する

+サステナビリティ重点課題の同時解決



※1 Financial Times Stock Exchange の略

※2 2016 年対比

投資計画および株主還元

「MS Vision 2030」の実現に向けた投資計画では、「事業基盤の整備」として物流・IT インフラなどのアップデートを進めるとともに、「成長に向けた投資」としてデータ活用基盤の強化、DD マーケティング[※]などの事業開発、SCM・海外事業での M & A などへの投資を実行します。

配当性向目標および累進配当政策を踏まえた株主還元金額は、累計で 700 ～ 800 億円となります。

※ データ×デジタルマーケティング



成長戦略

成長戦略の3つの柱「デジタル活用」「新たな需要の獲得」「人的資本強化（人財育成）」を着実に推進し、さらなる収益拡大の実現を目指します。

01 デジタル活用

- データ活用基盤の強化と AI 技術の徹底活用を進め、
① 新たなビジネスモデル構築による需要創造、② 業務効率化・生産性向上、
③ SCM 機能強化（サステナブル SCM 構築）などを通じ、収益の拡大を図る

02 新たな需要の獲得

- 国内市場：ますます多様化する生活者ニーズに対応した商品開発力を強化する
- 海外市場：成長市場における日本食文化の需要の高まりに対応して海外事業を強化する

03 人的資本強化（人財育成）

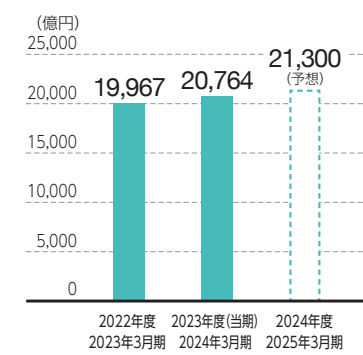
- 事業戦略と連動した人財ポートフォリオを明確にして、人事戦略を実行する
- 成長戦略の実行に不可欠なデジタル人財・海外人財等、専門人財を確保・育成する
- 個性を尊重し、能力・適性を活かし、健康的に活躍できる、働きやすく、働きがいのある組織風土を醸成する

▶ 「MS Vision 2030」詳細はこちら



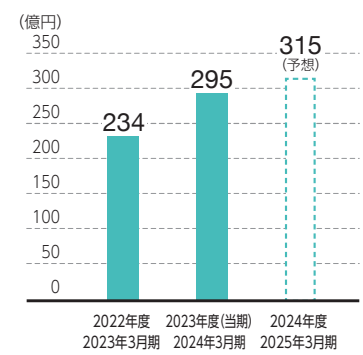
売上高

2兆764億円



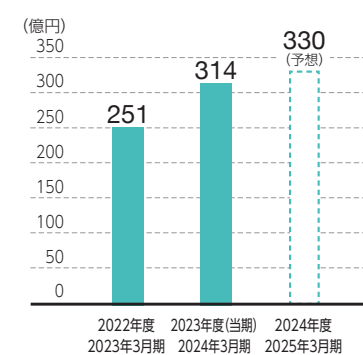
営業利益

295億円



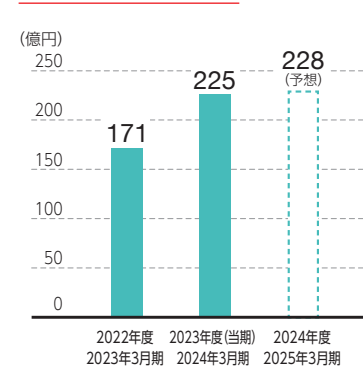
経常利益

314億円



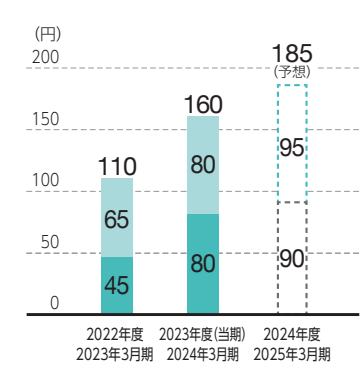
親会社株主に帰属する
当期純利益

225億円



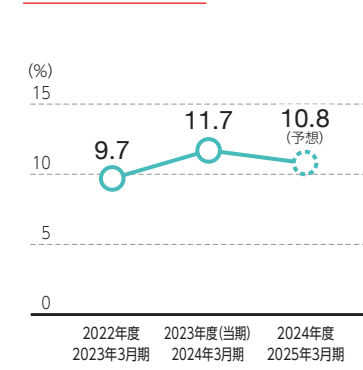
1株当たり配当金

160円



自己資本当期
純利益率 (ROE)

11.7%



財務情報の詳細データにつきましては、当社ウェブサイトよりご覧ください。



「健康経営優良法人 ホワイト500」に初認定

当社は、5年連続で経済産業省が認定する「健康経営優良法人」の認定を受けており、さらに本年は、認定法人のうち特に優れた取り組みを実践している上位500社である「ホワイト500」企業にも認定されました。

当社の価値創造の基盤は人財であり、従業員の健康があってこそ当社のパーパスの一つである「食のビジネスを通じて持続可能な社会の実現に貢献する」を成し遂げることができます。これからも、従業員一人ひとりの健康に積極的に携わり、「明るく・楽しく・元氣よく、そして前向きに」働く従業員であふれる会社を目指します。



健康経営の取り組みの詳細については、当社ウェブサイトよりご覧ください。

▶ https://www.mitsubishi-shokuhin.com/sustainability/esg/social/health_management/



海外スタートアップ企業への投資を加速

当社は、食のインフラを支える事業基盤強化はもちろんのこと、新しい機能の獲得や新規の事業領域への取り組みについては、スタートアップ企業とのオープンイノベーションを積極的に推進しています。

2024年1月には、アメリカでいちごを中心とした受粉作物の植物工場を展開する Oishii Farm Corporation に対して、約7.2億円の出資を行いました。同社の技術は、いちご以外の受粉農産物にも転用が可能であり、将来的には地球温暖化などの環境変化による収

穫量減という課題を抱える農産物の安定供給に貢献できると考えます。

また4月には、ベトナムで輸入食品専門小売店を164店舗(4月末時点) 展開する Homefarm Holding Joint Stock Company に対して、約2.9億円の出資を行いました。今後は現地消費者の生の声や購買データを分析し、日本食の現地展開や新たな需要を創造するような商品開発、そして日本の食品メーカーのベトナム進出支援などに取り組んでまいります。

Oishii Farm Corporation

【設 立】2016年12月

【代表者】共同創業者 兼 CEO 古賀 大貴

【事 業】日本の農業技術(種苗・ハウス栽培・受粉等)とロボティクスや最新のデジタルテクノロジーを活用した植物工場を開発・運営

【出資額】5百万米ドル(約7.2億円)

【使 途】植物工場の建設および運転資金

Homefarm Holding Joint Stock Company

【設 立】2017年

【代表者】共同創業者CEO Tran Van Truong

【事 業】生鮮サーモンと冷凍牛肉を中心に、各種輸入食品を販売する小売店をベトナム全土で展開

【出資額】45,000百万ベトナムドン(約2.9億円)

【使 途】既存店舗・配送センターの改装費用、新規出店関連費用、システム関連投資、人材投資

■株式の状況

(2024年3月31日現在)

株式の総数

発行可能株式総数 **140,000,000株**

発行済株式の総数 **43,537,200株**

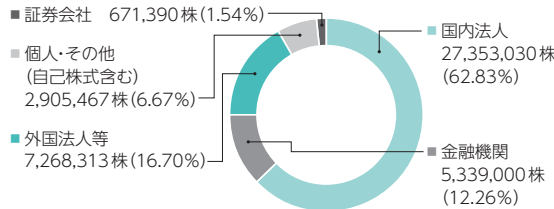
(自己株式875株含む)

一単元の株式の数 **100株**

株主数 **7,141名**

(前期末比1,693名増)

所有者別株式分布



(注)「個人・その他」には自己株式875株を含んでおります。

株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日：毎年3月31日

中間配当金受領株主
確定日：毎年9月30日

定時株主総会：事業年度末日の翌日から
3カ月以内に開催

株主名簿管理人
特別口座口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所：東京証券取引所

公告の方法：電子公告により行う
公告掲載URL
https://www.mitsubishi-shokuhin.com/
(ただし、電子公告によることができない事故、その
他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新
聞に公告いたします。)

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
三菱商事株式会社	21,816	50.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,198	7.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,164	2.67
株式会社ニチレイ	700	1.60
マルハニチロ株式会社	686	1.57
サントリー株式会社	669	1.53
ハウス食品グループ本社株式会社	611	1.40
テーブルマーク株式会社	600	1.37
三菱食品従業員持株会	480	1.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	464	1.06

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

お知らせ

●株式事務のお問い合わせについて

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつ
きましては、口座を開設されている証券会社等にお問
い合わせください。
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつ
きましては、左記株主メモに記載の三菱UFJ信託銀行証
券代行部にお問い合わせください。

●配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領
収証」により配当金をお受け取りになられる株主様宛
にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当
金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確
定申告の資料としてご利用ください。
なお、株式数比例配分方式を選択されている株主様の
配当金のお振込先等につきましては、口座を開設され
ている証券会社等にお問い合わせください。

●未受領の配当金について

左記株主メモに記載の三菱UFJ信託銀行証券代行部
にお問い合わせください。

■会社の概要

(2024年3月31日現在)

商号 三菱食品株式会社

本社 東京都文京区小石川一丁目1番1号

資本金 10,630,291,250円

従業員数 連結4,937名、単体4,012名

事業内容 国内外の加工食品、低温食品、酒類及び菓子の卸売を主な事業内容とし、さらに物流事業及びその他サービス等の事業活動を展開

主要な事業所



当社の情報はウェブサイトでもご覧になれます。
<https://www.mitsubishi-shokuhin.com/>



■役員(取締役・監査役)

(2024年6月24日現在)

代表取締役	京谷 裕
取締役	榎本 孝一
取締役	田村 幸士
取締役	細田 博英
取締役	川本 洋史
取締役	伊藤 和男
取締役	柿崎 環
取締役	吉川 雅博
取締役	國政 貴美子
取締役	川崎 博子
監査役(常勤)	山川 幸樹
監査役(常勤)	海上 英治
監査役	小島 吉晴
監査役	吉川 栄二

(注1) 取締役 柿崎環氏、吉川雅博氏、國政貴美子氏、川崎博子氏は社外取締役であります。
(注2) 監査役 海上英治氏、小島吉晴氏は社外監査役であります。

マイナンバー制度に関するお手続きについて

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要があります。

●株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書に株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

●マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券会社の口座で株式を管理されている株主様

お取引の証券会社までお問い合わせください。

証券会社とのお取引がない株主様

下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-711

三菱食品のオリジナルブランドを二つご紹介します。



Instagramや
公式ホームページで
多数のレシピを
公開中！
<https://oldelpaso.jp>



オールドエルパソ

家庭で手軽にメキシコ料理を体験！

メキシコ・テクスメクス※食材のトップブランドとして名を馳せているオールドエルパソ。製造販売を管理するジェネラルミルズ社は、日本市場のさらなる拡大を目指し、2024年2月から当社を新たな販売代理店としました。オールドエルパソは、キャリア（包むもの）、シーズニング（調味料）、ソース、チップスの4カテゴリー

を展開。これらの商品があれば、タコスやブリトーが手軽に家庭で作れます。また、すべての商品が、常温での保存を前提としているため、キャンプなどのアウトドアにも最適です。

※テクスメクス：米国テキサス州で発展したメキシコ風アメリカ料理のこと。



食べるをかえる からだシフト
24年春夏、
カレー3商品が全面リニューアル

2017年9月の発売から7年目を迎える健康ブランド、からだシフト。主力商品の一つである糖質コントロール カレーは、「スパイス感」「具材感」「パッケージ」を追求した商品にリニューアルしました。これまでの“糖質offなのにおいしい”から、“このおいしさで、糖質off”を感じられる、本格的なカレーをぜひご賞味ください。

からだシフト
ブランドサイト



全国の量販店、
ドラッグストアで販売。
ECサイトからの
購入も可能です。



糖質
4.2g

ビーフカレー
19種のスパイスをバランスよく配合
辛さと旨味の奥深い味わい



糖質
5.6g

バターチキンカレー
トマトの酸味とカシューナッツの甘み
17種のスパイス香る



糖質
3.3g

グリーンカレー
ココナッツミルクのコクと甘み
7種のスパイスの辛さ引き立つ

Copyright©Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd. All Rights Reserved.